

GW 北海道スキートリップ

T野

2023年4月29日～5月7日

メンバー： T野・A原・T山・T村m・T村e

経験上、ボーっと生きていると間違いなく山は逃げる！！行けるときに行っておかねば必ず後悔するものである。ところで、今年のGWは暦が実にいい感じ。チャンスである！！ということで、まず、会社では2日間の有休をなんとかゲット！！家族の了解も無事得られ、9連休全部を北海道の山に注ぎこむことにする。感謝の気持ちを忘れずに楽しんでこよう！！

ところが、当初の長期予報は4/29-5/7まで全日天クラCで「最悪」といいて良い予報が並び意気消沈、せっかくの9連休がガッカリモードだ。しかーし、現地に行ってみると、まるでオセロのピースが次々に黒から白にひっくり返るように予報が好転、終わってみれば9連休のうち8日間山に入るという嬉しい悲鳴状態となった。

さて、体力下降線を迎えた還暦過ぎの男女5人北海道春物語！！いったいどうなったのでしょうか？では報告です。

4/28

夜、職場から直接羽田へ。スカイマーク最終便でビューンと飛んで千歳入り。いよいよ楽しい時間の始まりだ。ただ、なぜか体調が今一つ、咳が止まらず体が何となく重い。まさか今ここでコロナ？「勘弁してよ」ただ、決定打には欠けるし、荷物も送りこんであるのでとりあえず出発。千歳のホテルでは体調回復に努めるため、酒も飲まずにすぐに寝る。

4/29

ニセコパノラマライン 830m付近～チセヌプリ～北面滑降～長沼～シャクナゲ岳～東面滑降～チセヌプリ～東面滑降～ニセコパノラマライン 830m付近

メンバー T野・A原・T山



■写真 チセヌプリ山頂！！

早朝、ホテルをレンタカーで出発。T村さん夫妻はニセコオートルート前半をトレースするのでグランヒラフスキー場でお二人を降ろして、我々はパノラマラインの830m付近にあるチセヌプリの登山口へ。駐車スペースはほぼ満杯。手軽に登れるルートなので人気があるようだ。準備して8:25出発、チセヌプリを目指す。雪は充分にあり、ひたすら大斜面を登って行けば良いのだが、やはり体が重く動きが鈍い。A原さんのペースには付いて行け



ず、何とかT山さんの後をトボトボと付いて行く。「山は大自然のホスピタル！！」この言葉を信じ、頑張っって登っって気合で治そう……。

9:08 今回最初のピーク、チセヌプリに到着。ここから北面を滑降したいが、上からみると雪が繋がっているかどうかかわからず、間違いなく雪が繋がっている東面からトラバース気味に北面に入ることにする。ブッシュの尾根に阻まれてなかなか北面の斜面に入れず、滑降感は今一つ。ただ、特に問題なく長沼の滑り込むことはできた。長沼は少し水が溶けだして氷河湖のようで良い雰囲気！！長沼の湖畔を歩いてシャクナゲ岳に取り付く。標高差は200mほどだが広大な一枚バーンである。あまりに水分を含んだ雪でシールがビシヨビシヨ、糊が全く効かなくなり、途中からシートラーゲンで登る。シャクナゲ岳東面は超快適だが滑ればあっという間。体調が今一つのせいか、登りが長く感じるが、下りは実にあっけない。さて、今日最後のお仕事、チセヌプリの北面を登り返す。果たして北面の雪は山頂まで繋がっていた。往路、ここを滑ればもっと快適であったであろう。一生懸命登って再びチセヌプリ山頂。最後は標高差約300m東面を快適に落として本日は終了。終了後雨が落ちてきたが、曇りベースながら、視界も効いて、まずまずのスキー日和だった。明日はおそらく悪天停滞なので頑張っってよかった。

■写真上 神秘的な長沼。

■写真中 シャクナゲ岳の滑降

■写真下 同じくシャクナゲ岳の滑降！！

ところで、2泊お世話になった湯元温泉にあるマッサンヒュッテ



は大変リーズナブルな価格にもかかわらず思った以上に快適！！ニセコで遊ぶときは今後、定宿になりそうだ。

■写真上 チセヌプリ東面の滑降！！

■写真中 ワイスホルン登りからニセコ連山を望む。

■写真下 ワイスホルンゲレンデトップ付近からニセコアンヌプリと羊蹄山を望む。

■コースタイム

パノラマライン 830m(8:25)～(9:08)チセヌプリ(9:33)～(9:58)長沼

(10:25)～(11:10)シャクナゲ岳(11:24)～(11:30)長沼(11:38)～(12:50)チセヌプリ(13:05)～(13:15)パノラマライン



4/30

花園～ワイスホルンピ
ストン

メンバー： T野・A
原・T山・T村m・T
村e

今日は停滞上等と思っていたが予報が好転！！何と昼から晴れるという。同宿の登別山岳会の方々是我々に輪をかけてご高齢だが皆さん元気で、目国内岳を



目指すと息巻いている。我々もその気になってきて、半日でも楽しめそうなワイスホルンを目指すことにする。「雪秩父」でT村夫妻と合流、ホワイトアウトで真っ白な道を慎重に運転してワイスホルンの登山口を目指す。初見の場所ゆえ、登山口がわからず30分程付近をうろついたが、何とか見つけて出発するころには天気は良くなってきた。ラッキーである！！ただ、道を探しているときに何でもない場所でT村mさんが転倒して、顔と膝に結構

深い傷を負った。行かなくても良い場所だったので申し訳のないことをしてしまった。



■写真上 ワイスホルンから望むニセコ北部の山々と日本海！！

■写真中 ワイスホルン山頂。

■写真下 マッサンヒュッテのラウンジにて。

結局、車をデポした場所から雪のない車道を少し歩けばワイスホルンの旧ゲレンデに出た。あとはひたすら旧ゲレンデを登るだけである。旧ゲレンデとはいってもゲレン

デは所詮ゲレンデ、味気ないのは否めない。しかし、登るにつれて天気が良くなり、まるで富士山のような羊蹄山や、昨日登ったニセコ連山も一望でき、意外に近くに日本海も望め、素晴らしい眺



望となる。心配だった体調も、咳はまだ出るが、体のだるさは完全になくなり、体が軽くてどんどん登れる。A原さんに「昨日と別人だね！！」と云われ、ようやく楽しくなってきた。

時間があれば、ゲレンデ外にも魅力的な斜面があり、特に北面はそれなりに楽しめそうな等高線が続いていて魅力的だ。ゲレンデトップからひと頑張りすれば、未踏の山、ワイスホルン登頂である。三角点が藪の中にあり確認。帰路はゲレンデを滑るのと変わらないのであつという間の快樂であった。

■コースタイム

花園温泉(11:30)～(13:55)ワイスホルン(14:15)～(14:50)花園温泉



5/1

ニセコパノラマライン

575m付近～目国内岳～

東斜面滑降～前目国内岳

～東面滑降～新見峠～白

樺山～北面滑降～ニセコ

パノラマライン 575m付

近

メンバー： T野・A原・
T山・T村m・T村e

■写真上 マッサンヒュッテ。

■写真中 目国内岳目指して。

■写真下 目国内岳の登りからニセコ南部の山々を望む。





今日は天クラCだが、予報は晴れ！！風は多少強そうだが、目国内岳を目指すことにする。目国内岳は、昨日も一昨日も行動中に、その残雪豊富な山容を惜しげもなく見せてくれて実に魅力的な山である。近くにゲレンデがないこのエリアは、ニセコの中でも最も山深く、今回、ニセコの中では一番訪れたいエリアだったので楽しみである。

登山口はパノラマラインの575m付近、ちょうど新見峠へ行く道が分岐する場所である。この道は車両通行止



めだが、完全に除雪されていて、しばらくこの道を辿ることになる。準備して7:00にシートラゲンで出発。約40分歩いて715m付近でこの道から離れ、シールオンして前目国内岳の南側を豪快にトラバース、前目国内岳と目国内岳の鞍部へ。ここからは気持ちの良い

尾根を登り目国内岳を目指す。登るにつれ、後方にはアンヌプリ・ニトヌプリ・チセヌプリ・シャクナゲといったニセコ連山、さらに奥にはいつまでも見飽きぬ羊蹄山が鎮座していて素晴らしい景色が広がる。残雪豊富な目国内岳だが、山頂直下は岩場となり、板をデポして山頂へ！！反対側の景色が突然開ける。目国内岳同様にまだまだ残雪豊富で純白の雷電山と、紺碧の日本海の景色が眼前に飛び込んできた！！山頂らしい山頂に満足！！

■写真上 目国内岳山頂。

■写真中 目国内岳東面の楽しい滑降！！

■写真下 同様にニセコ南部の山々に向かって快適ザラメを飛ばす！！



さて、お楽しみの滑降だ。ザラメの広い尾根を快適に飛ばす！！標高差では300mちょっとだがこの斜面は最高！！できれば、前目国内岳を巻いて白樺山に取り付けたいかと思っルートを探すが、地形を見る限りどう考えても無理なので、一度、前目国内岳に登り返し、新見峠に向けて再び滑降。ここもメローで根子岳を彷彿させる快適な斜面だ。新見峠に滑り込み、アスファルトに腰を下ろして大休止、CCレモンが旨い！！白樺山

への登高は名の通り、やや密な白樺林を登る。白樺山も山頂は岩場で、板をデポして藪っぽい岩場をひと登りすれば山頂だった。狭いが、ここも景色の良い気持ちいい山頂で、滑ってきた目国内岳東斜面が一望できる。最後の滑降は北面の白樺林の疎林！！今まで大斜面ばかり滑っていたのでこういうのも新鮮で良い。一気に滑って車道に出ればデポした車はすぐであった。

■写真上 目国内岳バックに白樺山への登り。

■写真中 白樺山山頂。

■写真下 白樺山北面を滑る。

このルートはトータルで標高差1000mほどだが、雄大な景色と豊富な残雪に恵まれ、付近にゲレンデがないので自然度も高く、実に変化に富んだルートで、僕的にはニセコでは一推しのルートでした。

思いがけずにニセコエリアでは3日間フル行動！！嬉しい誤算である。明日は暑寒別岳！！その後も晴れ予報が続く。イヤイヤこれはいよいよ休めんぞー。還暦過ぎの体はそろ

そろ休みを要求しているのだが……。何度も言うが「山は逃げる！！」行けるときには行かねば……。ということで頑張ります！！さあ、これから長距離ドライブ開始。暑寒荘を目指す。

■コースタイム

ニセコパノラマライン 575m付近(7:00)～(7:37)715m付近(7:46)～(8:36)前目国内岳と目国内岳の鞍部(8:53)～(9:50)目国内岳(10:30)～(11:11)前目国内岳(11:30)～(11:44)新見峠(12:05)～(12:40)白樺山(13:05)～(13:23)ニセコパノラマライン 575m付近



5/2

暑寒荘～暑寒別岳ピス

トン

メンバー： T野・A原・T山・T村m・T村e

暑寒荘は広くてトイレも清潔、ストーブもあり快適な山小屋である……。？異議あり！！

というのも、カメムシとお友達になれない人にとっては相当なストレスを感じ、「外に寝た方がマシ！！」となるかもしれない？ そんな好みははっきり分かれる小屋である。

■写真上 ベースの暑寒荘。

■写真下 尾根に上がってようやく雪が繋がった！！

2019年に訪れた時は山荘からシール歩行で登り、山荘まで滑り込むことができた。5:30に出発 12:20には下山している。

今回は、4年という歳月で体力も落ちていうえに、下部は雪が少なく板を担いだり履いたり忙しくなりそう。そんなことから、出発を30分早め5:00出発。最初はシートラーゲンで行く。前は雪が多かったので林道を適当にショートカットしてスイスイ登ったが、今回は素直に林道を歩かざるを得ず、尾根に出るまで長く感じた。さらに、尾根に出ても、すぐには雪が繋がっておらず、尾根が広がるまではシールで歩けず、佐上台を過ぎたあたりで漸く快適にシール歩行ができるようになった。



それにしても最高の天気だ！！登るにつれ、北は利尻から南は羊蹄まで、東には天塩・大雪・十勝の峰々、西は紺碧の日本海の奥に積丹の山々・・・要するに、ここから見えるはずの山はすべてクリアに見えて大感動！！いわゆる、ドッピーカンというやつである。感謝・感謝！！

■写真上 出た、新鮮なヒグマの足跡！！

■写真中 北海道らしい美しい。白樺の疎林。

■写真下 遠くに利尻も見える紺碧の日本海！！



風も穏やかでストレスなく歩いて快適この上ない。穏やかな白樺の疎林を過ぎ、傾斜がきつくなると、踏ん張りどころだ。ただ、ここは帰りに最高に楽しいところなので甘んじて頑張ろう！！やがて、傾斜は緩むがすぐに山頂！！というわけではなく、しばらく横移動すると、尾根の端っこに山頂が見えてくる。今まで見えなかった雄冬・浜御殿・浜益・郡別といった暑寒別連峰ともいべき



山々が魅力的な山容で顔を出し、この山域全体が魅力あふれる山域であることが一瞬で理解できる。4年前に登った雄冬・浜御殿・浜益が懐かしい！！もし、僕に TENT を背負って快適に山スキーができる体力があったら暑寒の尾根や谷を縦横無尽にトレースしてみたい。ほとんどが道のない原始の山々である。きっとオリジナリティー溢れる素晴らしいルートを引けるに違いない。北



の台地にはこういう山がまだたくさん眠っているのだ。

しかし、今の我々の体力では日帰りが順当、往路を満喫するとしよう。前回訪れた時も強く思ったのだが、山頂の東面の新信砂川源頭の斜面が素晴らしい！！今回も滑ることができなかったが本当にもったいない。いつか滑ってみたいのだが……。この斜面を絡めつつ北面の大斜面を目指す。登ってくる時はやや硬めで不安だったが「心配ご無用！！」最高の面ツルザラメになっていた。何しろ斜面がデカイ！！滑っている我々は米粒のようである。最高の瞬間を楽しむ。

■写真上 山頂から暑寒別の峰々を望む。

■写真中 暑寒別岳山頂！！

■写真下 これが暑寒別の大斜面！！最高！！



登り返しを苦しめなければどこまでも滑って行けるのだが、登り返しのないルート採りをするなら1100m付近からトラバース気味に滑って950m付近で登りのルートと合流するのが得策である。ここからもまだ穏やかなゲレンデのような斜面をしばらく楽しめる。佐上台付近で一度シートラーゲン、林道に出たら履いたり脱いだり忙しい。行きも帰りも下部で結構時間を取られた。それでも13:30には下山でき、今回の条件にしては充分想定内、皆、頑張りました！！



さあ、今日も白銀荘に向け、ロングドライブだ！！明日あたり休みたいところだが、予報は今日と同じ晴れ！！美瑛岳を目指すつもりだったが体が悲鳴を上げている。少し日和って明日は三段山で勘弁してもらうことにした。

■コースタイム
暑寒荘(5:00)～(6:24)二合目(6:50)～(10:53)暑寒別岳(11:24)～(13:30)暑寒荘

5/3

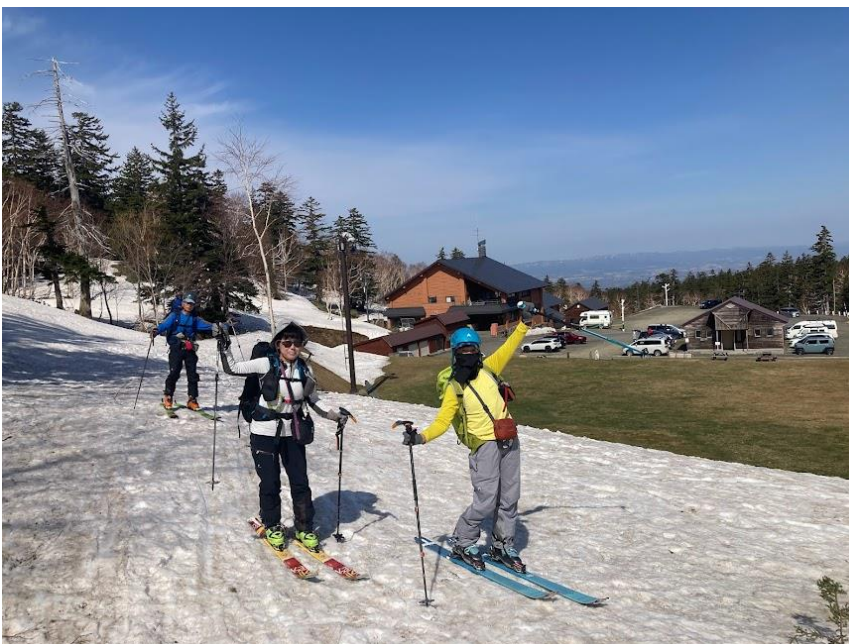
白銀荘～三段山ピストン

メンバー： T野・A原・T村m・T村e

■写真上 暑寒別岳の大斜面！！

■写真中 日本海が近い。

■写真下 白銀荘を出発。



それにしても白銀荘は天国である。全館半袖OKの快



適空間、何でもできる調理場（ただ、臭いの強い料理や煙の出る料理はNG）、広く露天もサウナもある温泉、翌日には完全に乾いている乾燥室、そしてリーズナブルな料金、この快適さを経験してしまうとなかなかテントには戻れない。今の我々にとっては理想的なベースである。ここには自分たちが連れてさえ来なければカメムシもない。ところがなぜか数匹発見！！どうやら、暑寒荘から付いてきてしまったようである。早速ガムテープで処理。



さて、今日もいい天気だ！！これでは停滞はできない。T山さんだけは自主休講。まあ、今年の2月に最高の条件で登っているので休みたい気持ちはわかる。でも、僕は2月の山行はドタキャンで指をくわえて皆の行動をLINEで見えていただけなので三段山はまだ未踏峰。「絶対登るぜ！！」

まあ、そこまで肩肘張らずとも気軽に登れる山なので、ゆっくりと8:30出発。三段山は名前の通り3段の急斜面と緩斜面が交互に出てくる山である。まだ積雪は充分あるのでどこでも歩け快適。標高差も750mほどなので半日行動である。



■写真上 端正な姿の富良野岳。

■写真中 富良野岳バックに。

■写真下 この辺りでは荒々しい男性的な山容の上ホロカメツク山と上富良野岳。

自然の息吹を感じる十勝の噴煙、端正な姿が格好いい富良野岳、南八ヶ岳を彷彿させる上富良野岳～上ホロカメツク山の稜線、贅沢な景色である。遠くには大雪の峰々も望める。



そんな景色を楽しみながら快適に高度を稼ぐ。やがて山頂、だれが創作したのかウサギの雪像が迎えてくれた。山頂では景色を楽しみ、次回訪れたときのルートを考えるのも楽しい！！富良野岳がここでは僕が一番のお気に入り。冬の山頂を目指すのはリスキーだがGWなら狙えそうだ！！今回行けなかった美瑛岳も行ってみたい。もちろん、オプタテシケも……。じっくり腰を据えて臨みたい山域である。

さて、お楽しみタイム！！雪は程よく締まった快適ザラメでスキーが走る。できるだけ人の滑っていないところを探しながら滑っていくが、この山のキャパの広さか、自分たちのシュプールを描ける斜面がまだまだ残っている。特にスキーヤーズライトの沢に落ちる急斜面は最高！！これがパウダーだったらホント身も心もとろけてしまうだろう。でもザラメにはザラメの良さがある。沢の対岸はトレースもなく静か。雪は腐り始めたが好ましい雰囲気ルートで、後半、沢の横断も何か所かあったが、



まだ水は出ておらず、登り返しなしで白銀荘に滑り込むことができた。明るいうちから温泉にザブーン！！白銀荘はこれが最高！！

■写真上 三段山山頂のウサギ！！

■写真中 十勝岳をバックに三段山山頂にて。

■写真下 快適なザラメを十勝岳バックに滑る！！





三段山はまさに山全体が山スキーのためにある山、ホントいい山でした！！おかげで2月のリベンジを無事果たすことができました。

■コースタイム

白銀荘(8:30)～
(11:00)三段山(11:30)
～(12:10)白銀荘

5/4

十勝岳温泉～上富良野
岳ピストン

メンバー： T野・A
原・T山・T村m・T村
e

■写真上 三段山の詩キーヤーズライトの急な沢、最高です！！

■写真中 居心地抜群の十勝のベース白銀荘！！

■写真下 巖つい山、上富良野岳と上ホロカメツク山。

雲は多いが視界もあって今日も行動可能だ。ただ、疲れもたまっているのであまり長いルートはNG、さてどこへ行こうか？昨日、三段山から見て上富良野岳へ延びる尾根が広くて快適そう。距離もそれ





ほど長くなく全員未踏のルート、ヤママップの地図だけが頼りだがこういう山も未知の魅力があって楽しそうなので今日はここに決定！！

十勝岳温泉から歩き始めるが、大きな沢を対岸に渡らなければならない。最初は深くとても渡れそうもない谷だが、少し上流まで歩くと谷は浅くなり何の苦労もなく対岸に渡れた。緩い斜面をシールで歩いていくと、上富良野岳に延びる尾根に乗るためにちょっとした急斜面を登らねばならず、ここは雪が硬かったのでシートラゲンで慎重に乗り越す。尾根に上がれば穏やかな緩斜面がしばらく続く。辺りを見渡すと三峰山から北に落ちるカール状の斜面が実に魅力的だ。元気なら上富良野岳と一緒に2本立で楽しめそうだが、年甲斐もなく6日連続のぶっ通し行動でかなり疲れがたまっている我々は「今日は上富良野岳だけで勘弁してやるか。」ということで、三峰山北面はまたいつか再来した時のためにとっておこう。上富良野岳の山頂直下は急

な尾根となり、スキーをデポして今回初めてアイゼンを使用。ちょっとアルパインっぽい雰囲気は久しぶりでちょっと新鮮だ。山頂は強風、上ホロカメットク山まではスキーが使えるそうもないし意外に距離があるので今日はパス。

■写真上 三峰山の北面カールはいつか滑ってみたい！！

■写真中 富良野岳バックに。

■写真下 上富良野岳最後の登り。



スキーデポ地まで戻り、カール状の斜面を滑降。下から見た感じより傾斜は緩く超快適！！1600mくらいまで一気に滑る。その後、斜面は良いのだがストップ雪で、滑降的には消化試合。雪が良ければきっと気持ちの良いところだろう。板を担いで登った急斜面も滑れば一瞬であとはダラダラと十勝岳温泉に戻った。

ここはやはり三峰山との2本立てがお薦めだ。2本やっても標高差は1000m程度である。

今回も昨日に引き続いて日和ってしまった。無理もない、いい歳してもう6日間も連続して行動しているのだ……そして明日も……。

明日は旭岳の予定なので、今日は東川町の「道の駅ひがしかわ道草館」に移動。途中、旭川の街に立ち寄り回転寿司の「トリトン」で大人食い¥4000 超えの伝票にヒョエーッ！！

■コースタイム

十勝岳温泉(7:55)～
(10:55)上富良野岳

(11:10)～(12:15)
十勝岳温泉



■写真上 上ホロカメツク山と十勝岳。

■写真中 上富良野岳山頂にて。

■写真下 上富良野岳山頂直下を富良野岳に向かって快適に滑る。



5/5

旭岳ロープウェイトップ～

旭岳～東面～北面滑降～

旭岳ロープウェイ山麓

メンバー： T野・A原・
T山・T村m・T村e

■写真上 十勝連峰が朝日に輝き美しい！！

■写真中 広大な忠別・化雲の山々。

■写真下 山頂直下を登る。



ロープウェイの始発は9:00だが、始発に絶対乗りたいので8:00にはロープウェイ駅に到着。ところが、思いのほか人出は少なく、楽々始発に乗車。高曇りだが、視界はよく効いて、昨日までいた十勝の山々には陽があたり白銀に輝いていて美しい！！標高が高いからか風が強い。準備して9:20出発。シール歩行で登って行くが、凍ったトレースが凸凹していてそれが引っ掛かり歩きづらい。雪は硬く全く潜らずトレースもあるのでシートラーゲンの方が早いと思い、1ピッチ歩いたところ(1995m付近)でアイゼン歩行に切り替える。連日の行動で疲れが堪っているせいか、なかなかのスローペースで12:05にようやく旭岳山頂に到着。標高差700m弱に3時間近くかかった計算になる。この調子では安定間岳まで行くのは厳しいし、行ってもおそらくしんどいだけで楽しくないだろう。ということで、今日は旭岳に照準を



絞り存分に楽しもうと決める。

高曇りだった天候も回復して青空も覗き、カムイミントラ（大雪の山々）が惜しげもなくその全貌を見せている。さすが北海道の最高峰！！素晴らしい景色である。次回こそ中岳温泉にベースを置いて、どこでも滑り放題のこの辺りの山々を滑りまくりたい！！ただ、それは体力があればこそ……早めに実行しないと夢に終わりそうだ。

ゆっくり景色を堪能したらお楽しみの滑降タイムだ！！ただ、山頂からダイレクトに落ちる北斜面はキックステップもままならないほどカチンコチン、転倒したら地獄の滑り台である。後旭との鞍部に向かう東斜面が、少し硬めだがいい感じなのでこちらからエントリーする。最初の2～3ターンはやかりかりだったがすぐに気持ちの良い面ツルザラメになり、広大な斜面を貸し切り状態！！「カ・イ・カ・ン」と思わず薬師丸ひろ子が乗り移る。（この気持ち、還暦以上ならわかるよね！！）

標高差約550m傾斜が落ちるまで登り返しは全く考えずに無我夢中で滑り降りた。もうここは裾合平の一角である。ホント最高！！

■写真上 旭岳山頂！！

■写真中 旭岳東斜面は超快適！！

■写真下 もう止まらない！！

さて、ロープウェイに向かって滑り込むには200mほど登り返した方が効率的なので、頑張っ



ースで登って行き、だれも付いて行けず点になる。200m登れば後は南に向かってトラバース気味に滑っていくのみ。楽しい滑降ではないがスキーの機動力は素晴らしく、ロープウェイ駅まではあっという間。ここからはスキー場のゲレンデなのだが実にワイルド！！これは山と変わらん。非常に楽しい！！4年前に訪れた時も記したかもしれないが、ここは来年冬に絶対来よう！！ロープウェイで反復したら絶対楽しいに違いない。傾斜



- 写真上 自分たちだけのシュプールを描いてご機嫌な旭岳北面下部を滑る！！
- 写真中「カ・イ・カ・ン！！」このスケールは大雪ならでは！！
- 写真下 地獄谷の噴煙に近づいてみる。



が落ちたらコースに合流、自動運転で山麓駅まで流した。

旭岳の東～北斜面はまるでヘリスキーの世界！！大斜面が目白押しでホント素晴らしかった。ぜひまた来よう！！

さて、キャンセルが出て再び今日・明日は白銀荘に泊まれる、やったね！！

■コースタイム
 ロープウェイ駅(9:20)～(11:30)金庫岩(11:45)～(12:07)旭岳(12:20)～(12:44)裾合平 1765m付近(13:10)～(13:35)1962m付近(14:00)～(14:36)ロープウェイ山麓駅

5/6

美瑛観光～秀岳荘旭川店

7日間ぶっ通しで行動したが漸く休める……フー。結構頑張ったよね僕たち……。朝風呂入って、ゆっくりして、秀岳荘旭川店でウインドショッピングして、美瑛の丘を観光。のんびりできた。

■写真上 旭岳北面のロケーションは最高！！

■写真下 連続7日間山スキーしてようやく休養日。美瑛の丘を観光した。



5/7

白銀荘～前十勝岳 1500m 付近ピストン



メンバー： T野・A原・T山

最終日も予報が良いので前十勝岳を目指す。T村夫妻は自主休講、今日は帰京しなければならないので半日行程で昼には空港に向け出発しなければならない。

下から見ると、どう見ても山頂まで雪が繋がっているとは思えないが、昨日、秀岳荘で得た情報では最後まで雪が溜まっている千春沢ならきっと楽しめるということなので、そこを目指すことに



して白銀荘からトラバースしていく。1か所、そこそこの沢を渡渉するが、うまく足を濡らすことなく飛び石で渡れてホットー安心。

■写真上 この沢を渡渉しないと取付けない。

■写真中 前十勝の登りから三段山を望む。

■写真下 雪が切れてしまった。1500m付近が今日の終了点。

あとは雪が繋がっている場所を探して上を目指す。ルーファイが悪いと藪につ

かまるので、まるで巨大迷路を歩いている気分である。下から見て「ここぞ！！」と思った斜面を



登るが、果たして 1500m 付近で雪が切れていた。辺りを見渡すと、1 本南側の斜面の方が上まで雪があり、ここより標高で 50m くらい上まで行けたようである。また、時間に余裕があれば、十勝岳方面の斜面を登れば十勝岳までルートは続いているようでもあった。

でも、もう充分である。ホント満足！！これ以上ない条件に恵まれたと思う。

さあ、最後の滑降を楽しもう！！よく滑るザラメの斜面を 1 ターン 1 ターン噛みしめるように滑る。最後は再び渡渉、トラバース気味に滑降すれば

10:20、予定より早く白銀荘到着！！

ゆっくり風呂に浸かり、荷造りも時間を気にせず余裕をもって済ませ帰路につく。富良野のクロネコヤマトで荷物を出して身軽になり、一路空港へ。最後はラーメンで締めた。

■コースタイム

白銀荘(7:00)～(7:30)渡渉点～(9:00)1500m 付近(9:35)～(9:55)渡渉点(10:02)～(10:10)白銀荘



■写真上 いつか滑りたい富良野岳！！

■写真中 前十勝を快適に飛ばす！！

■写真下 気持ちいいね！！

終わってみれば出来過ぎの山行であった。天候は申し分なく、もう少し我々に体力があれば、美瑛岳や中岳温泉 BC の安足間岳や北鎮岳も充分可能であった。しかし、限界であった。これ以上ハードな行動をしたら、できなくはなかったかもしれないが、きっと楽しくなかったであろう。という意味では、今の自分たちのパフォーマンスは充分に出した山行であったと思う。「還暦過ぎの男女5人北海道春物語」は、ここでつつがなく幕を閉じたのであった。

同行したメンバーにはホント感謝します。9日間という長期間にわたり、大きなトラブルや仲違いがなかったのも、お互いに尊重し合って行動した結果だと思います。また、ぜひご一緒しましょう！！今回、十勝の山々に奥深さを感じ、次回はぜひ、オプタテシケや美瑛岳や富良野岳に行ってみたいと思いました。「山は逃げる」ので、できるだけ早い機会にぜひ実現したいと思っています。